やまとの安全

令和７年６月２０日
奈良県警察本部
生活安全企画課
（犯罪抑止対策室）

最近のニセ警察官はだますだけじゃなくて、「わいせつ」なことも要求してきます。

実際にあった被害例です。

ケース①

被害者の携帯電話に警察官を名乗る者から「口座が犯罪に利用されている。身の潔白を証明するために指定された口座に送金する必要がある。」等と電話があり、指定された口座に現金を振り込む被害に遭った。
その後、SNSのビデオ通話で「身体的な特徴を確認する。」と言われ、上半身裸の状態にさせられる性的な被害にも遭った。

ケース②

被害者の携帯電話に通信会社を名乗る者から「携帯電話が利用停止になる。」等と電話があった後、警察官を名乗る者から「逮捕を免れるために金銭が必要。24時間監視する必要がある。」等と伝えられた。被害者は、指示に従い、通信アプリのビデオ通話機能を使用してトイレや入浴中も映像送信を継続させられる性的な被害に遭った。

警察官がLINE等のSNSで連絡を取ることは絶対にありません！

警察官から電話があっても安易に信用せず、地元警察にご相談ください！

＋44などの国際電話番号からの着信はまず詐欺を疑ってください。